

ガー
デン
の

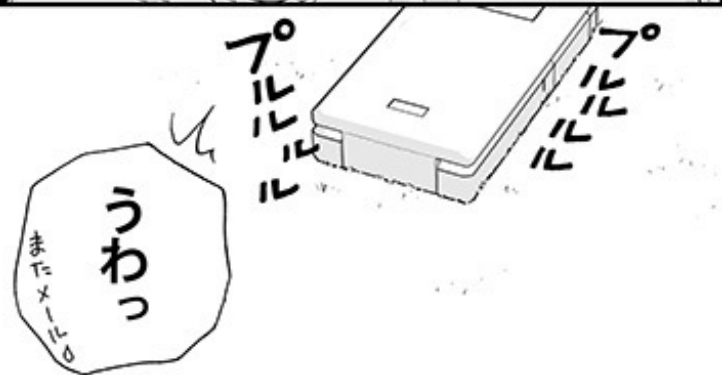
フェア
ール

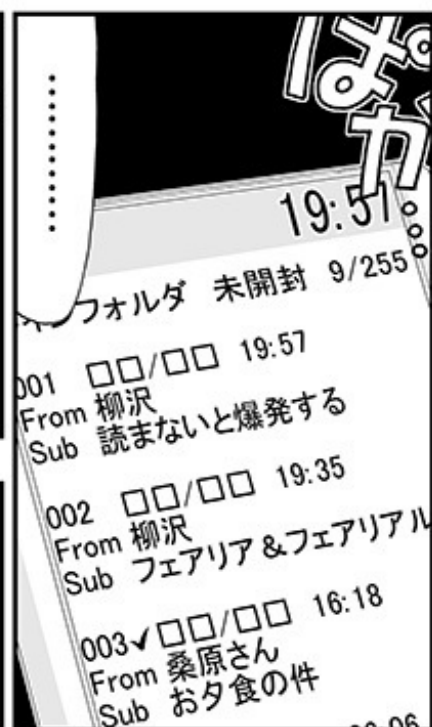
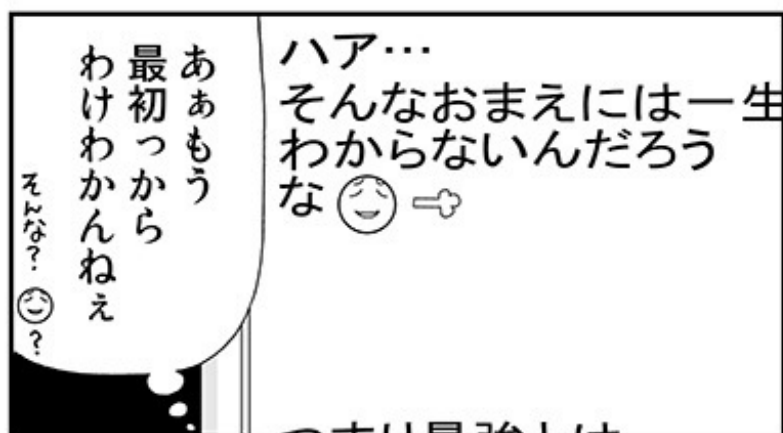
桜野みねね





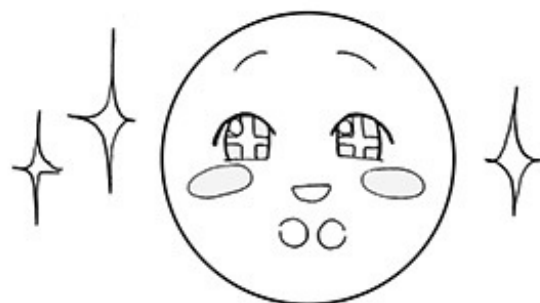


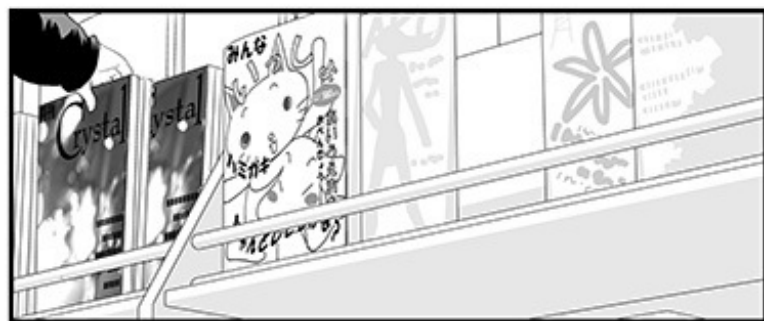
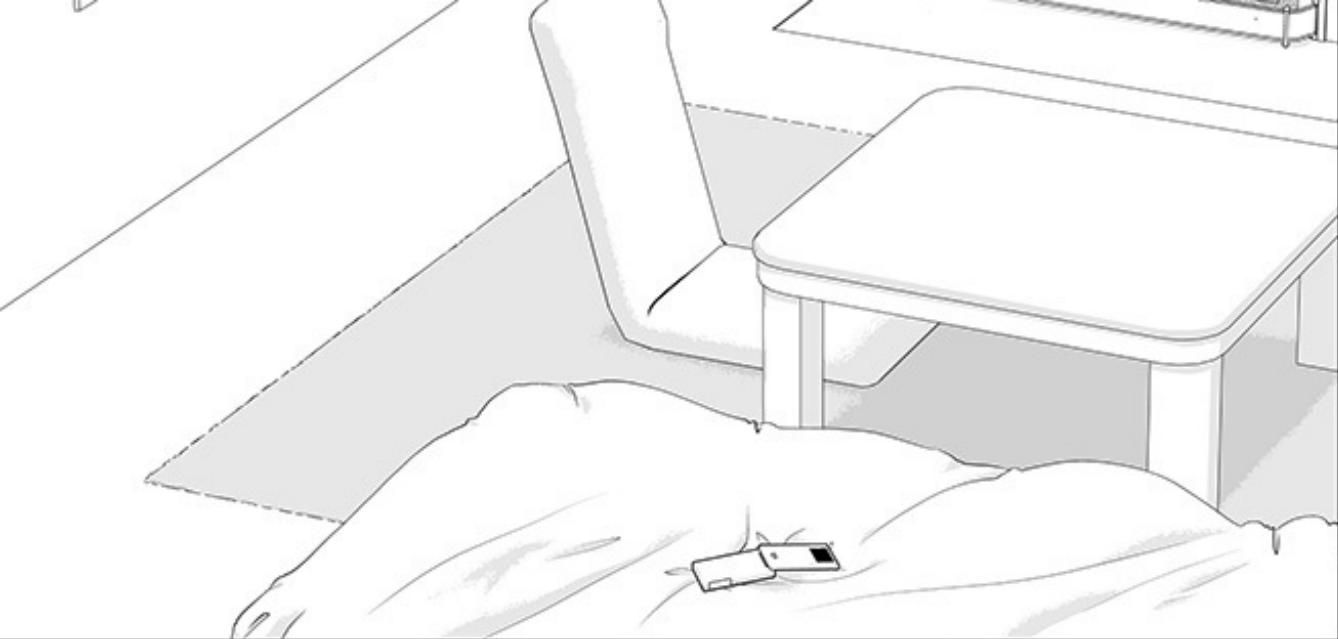


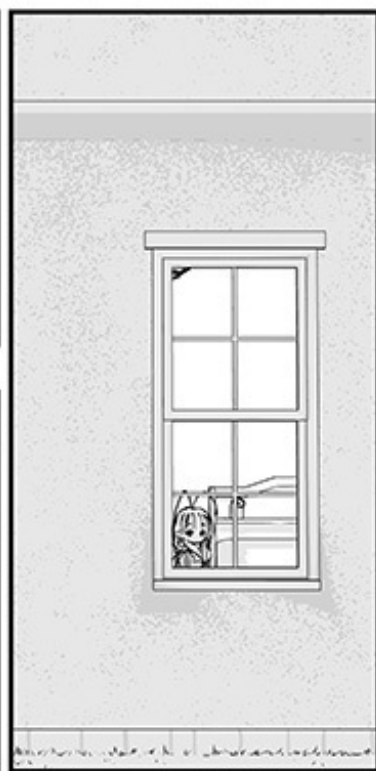
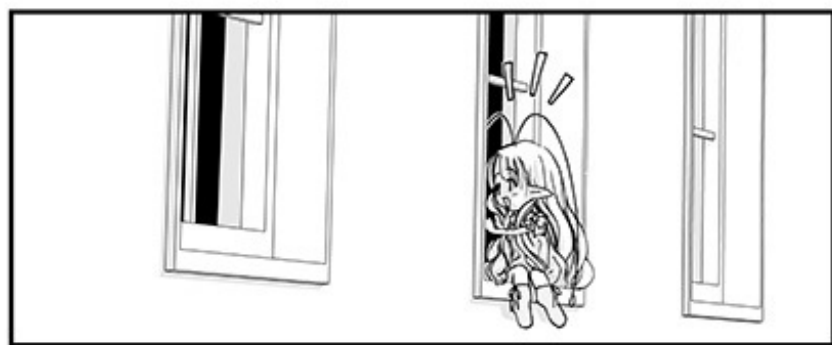


つまり最強とは

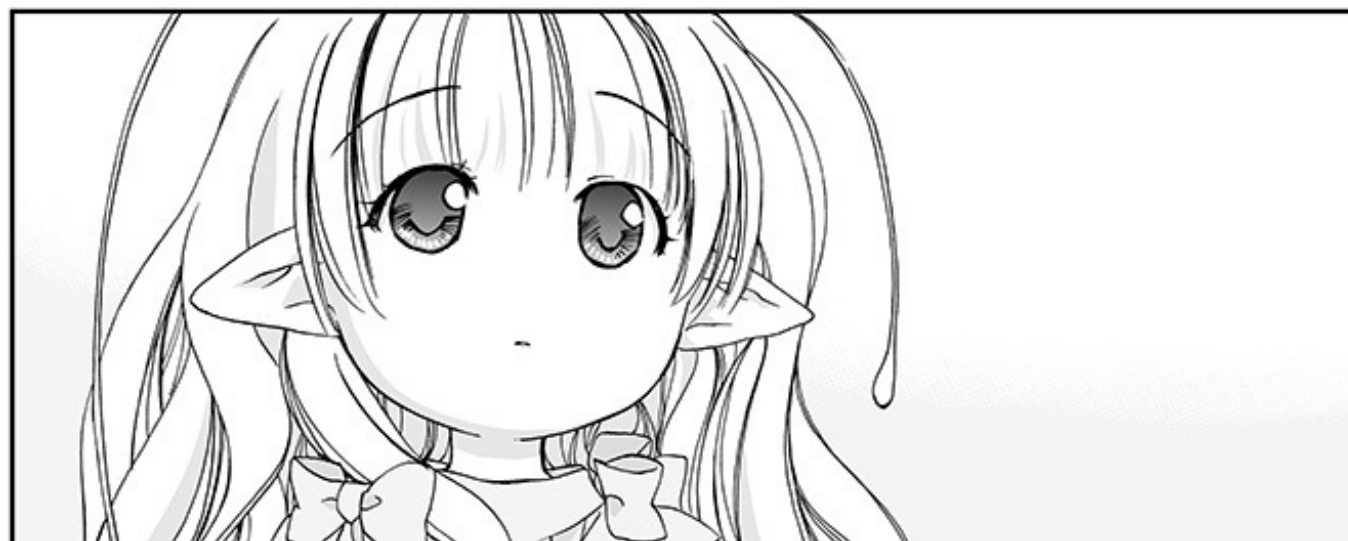
↓











ねえ



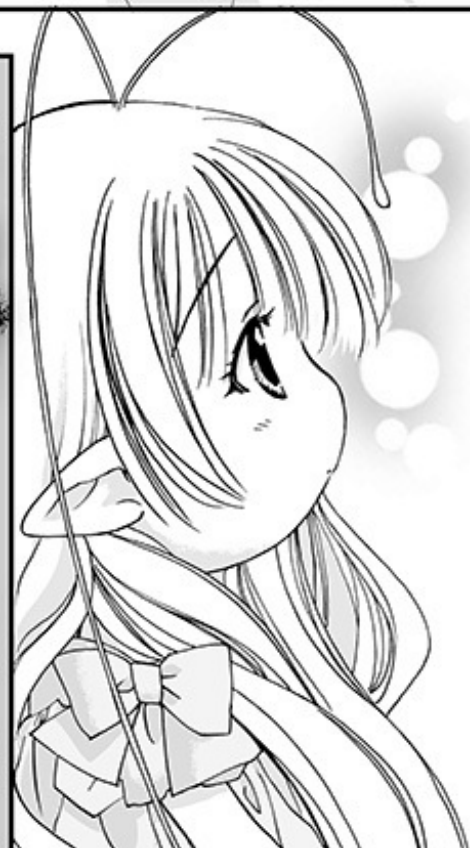
のあは
何を言ってるの？

なんで
悲しそうなの？

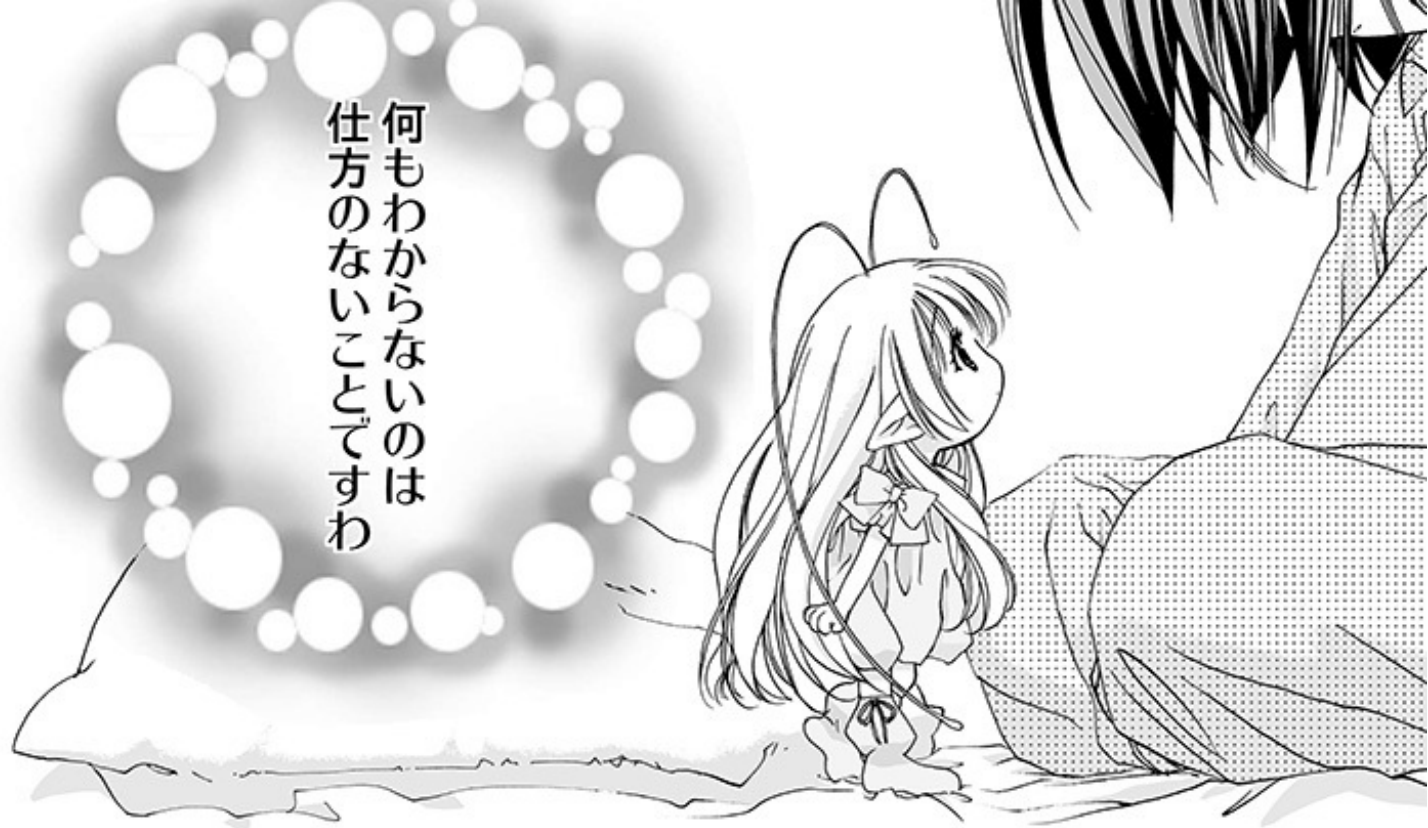


どうしたら
クレアにもそれが
わかるの？

…だって
クレアあなたは
まだ
生まれたばかり
なのですから



何もわからないのは
仕方のないことですわ



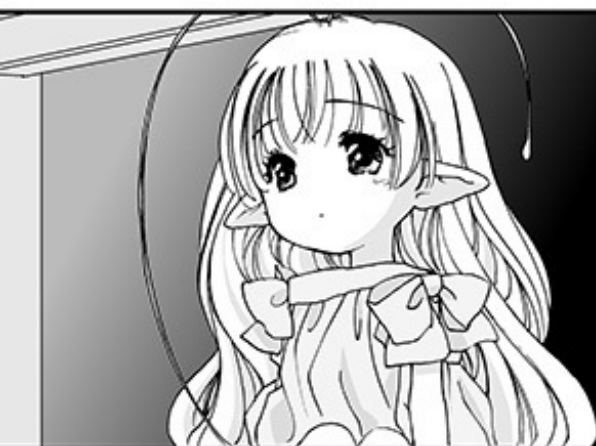
でも
カトー

クレアは
のあに何か
してあげたい






そう
ですわね




その気持ちは

よく
わかりますわ






なんでだよ!!



ねえ
なんで!?


母さん!!

でもね
のあ




あのフェアリアは
とても大切な
研究のために

私達に命を
くれたのだから

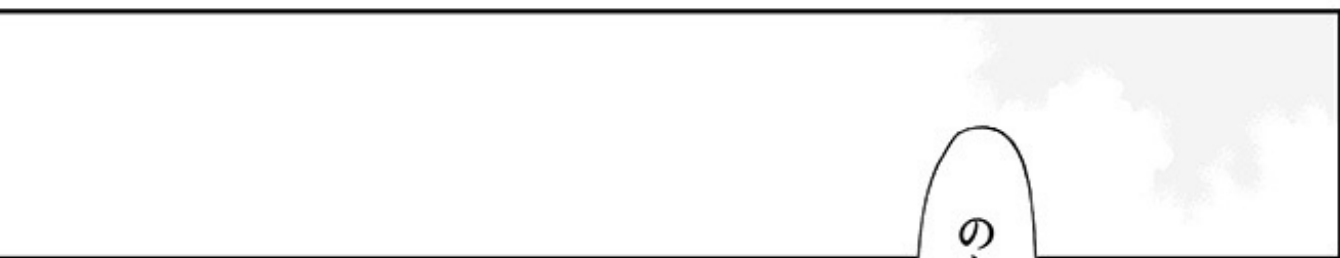


むしろ
幸せなこと
なのよ?



なんで
そんなこと...

...そんな



カトー…

ねえ
カトー

クレア
はやくのあと
お話できるように
なりたい

そう
ですわね

見たり
聞いたり
感じたり
すれば

いろんなものを
そのうち
自由になんでも
お話できるように
なれますわ

じゃあ
あの雲の下まで
いく頃には

クレアは
いろんなものを
見たり聞いたり
感じたりして

のあとお話
できるように
なってるかな

え…雲？



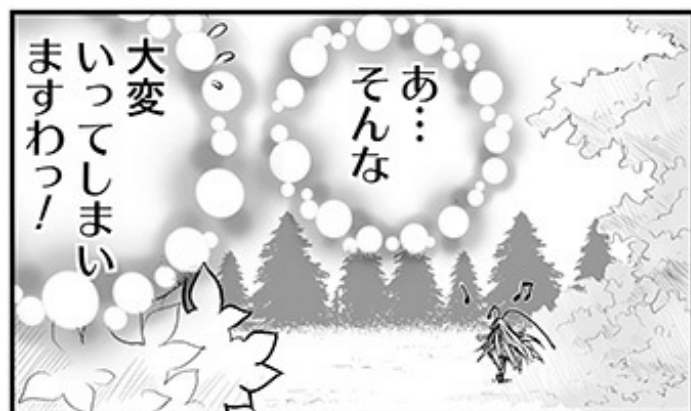
いつて
みようかな

あの雲の
下まで



ここに
じっとしてる
よりいいかも！

びん
よん

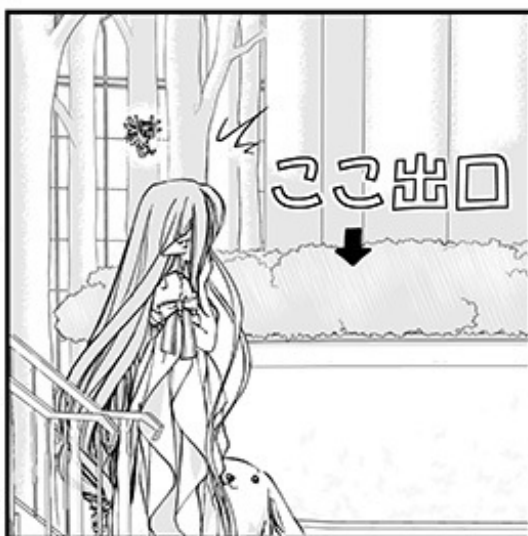


あ：
そんな

大変
いってしまい
ますわっ！



：クレア
ちよつと
待って？
それは無理
ですわ



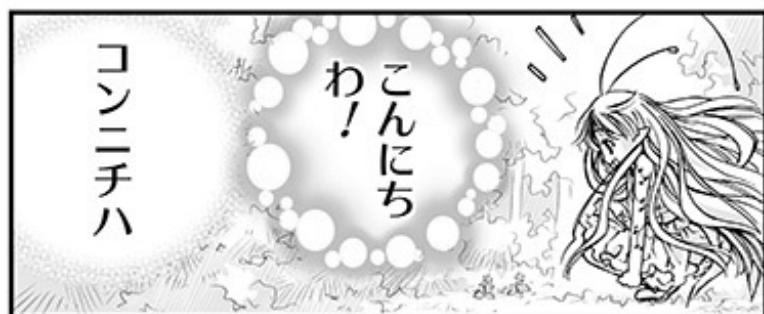




モドッタ
ホウガ
イイヨ



ソウヨ
モドッタホウガ
イイワ



コンニチハ

こんにち
わ!



アナタノ
アシモトニ



モウジキ
アメガフルワ

ハヤク
カエッタホウガ
イイワ

ううん
だってクレアは
雲の下まで行って
知りたいことが
あるから



ドウシテ?

キミハ
イツタイ
ナニヲ
シリタイノ?



のあが

喜んでくれる
言葉を
知りたいの



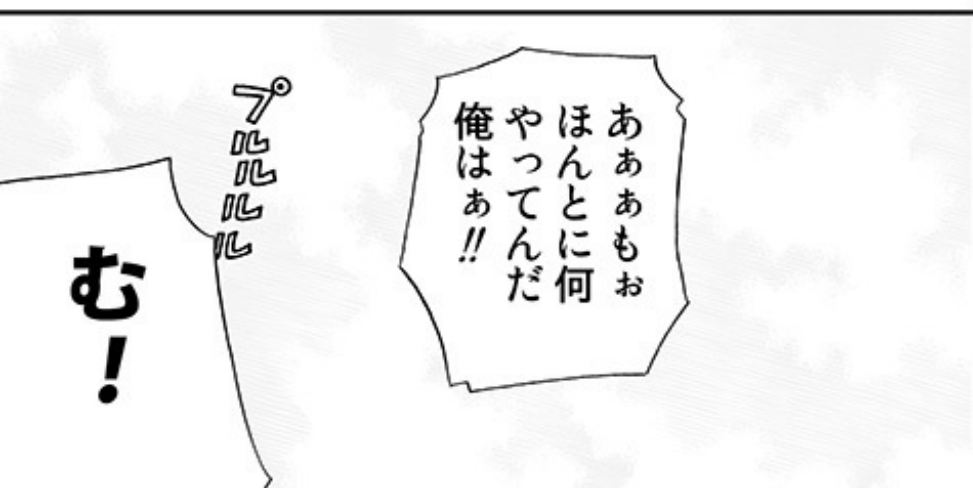
あいつが
出ていったのは
俺のせいだって
言いたいんだろ

わかってる
よ!!



痛っ
てえなー!

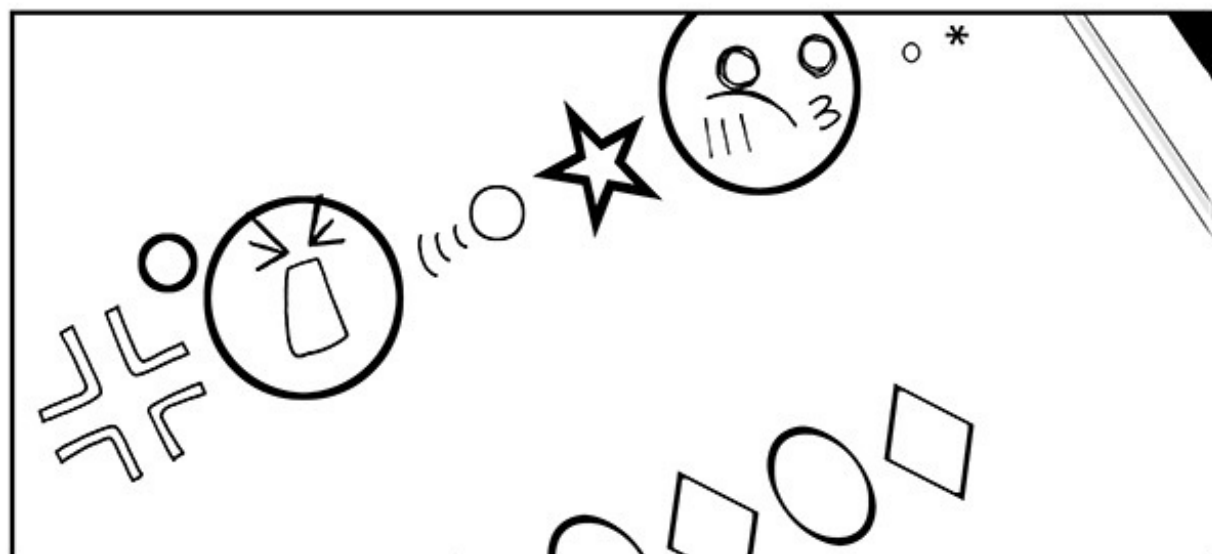
引っぱるの
やめろって



あああもお
ほんとに何
やってんだ
俺はあ!!

プ
ル
ル
ル

む!



でもなんか

効いたかも…

このままじゃ
だめなんだ

そんなの
わかってる

俺は
あの時なんで

育てようと
思ったんだろう

あの時……
どんな気持ちで

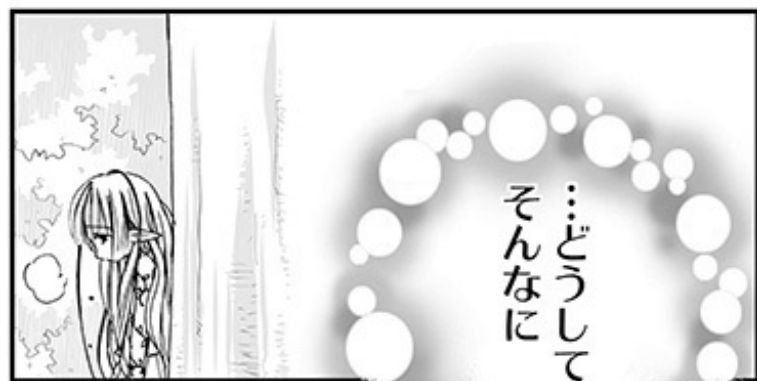
俺は

……あ





はやく
いかになくちゃ
いけないのに…




…どうして
そんなに




急いでるの？
クレア






このままじゃ
クレア



だって
のあと

一緒に
いられなく
なっちゃう
みたいで



のあとに必要だって
思ってもらえない
気がするから



……のあ



ねえ こういうとき



クレア!!

なんて

言えはいいの？



…おかえり

ごめんね

こんなことしか
言えなくて



もう誰にも
渡せないじゃ
ないか

そんなこと
言われたら

そうだよ
思い出した



あの時

見捨てられてた
おまえのことを
どうしても
放っておくことは
できなくて



それから毎日
おまえが
育つのを
見るのが
本当に嬉しくて

俺は

ごめんね



負けてしまったんだ

かた
固く誓った決意も
あの時の後悔も

かな
敵わないくらいの

その可愛らしさに



フェアリアルガーデン第3話

<http://p.booklog.jp/book/64409>

著者：桜野みねね

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/hinagi934/profile>

ブログ：<http://momofarm.moo.jp/momofive/>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/64409>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/64409>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ